

# 丸 子 公 民 館 だ よ り

今年も、全26自治会で人権教育懇談会を実施しました。毎年700人以上の方が人権教育懇談会に参加し、「人を大切にすること」の意識を喚起し、指導を継続していく大切さを学んでいます。

本年度は、講師にお聞きした講演のポイントや参加者にアピールしたいこと、他の自治会の参加者の「感想」等を、事前に自治会役員の方にお伝えしました。その内容を基に、懇談会前のチラシ作成や呼びかけなどの広報活動を一層充実させ、地域への定期的な連絡を重ねて参加者を増やした自治会がありました。また、講演内容によって自治会内の学校PTA役員会や高齢者クラブなどと連携し、自治会の組織ぐるみで取り組まれる自治会もありました。

実施後の報告書には、次年度につなげるため、実践を通しての貴重な反省がいくつも記載されていました。その一例を紹介します。

- 人権学習で皆さんに何を理解していただくかが、あやふやにならないようにしたい。
- 公民館がより主体性をもって推進するようにしたい。
- 若年層を含め、さらに多くの人に聞いてもらえるよう、時期及び設定時間を考えてさらに広報活動を積極的に行い、参加者の拡大を図りたい。
- 回覧だけではなく色々な方法での告知をしていきたい。周知方法の工夫が課題。
- 年齢、性別を問わず大勢の皆さんに出席いただけるよう、開催時期や時間、実施方法、広報に工夫が必要。
- 若い人や女性の皆さんが出席しやすいテーマを考えた方が良い。
- 講演の感想を出し合えたら良かった。
- 地域として高齢者の人権をどう守り、どう支えていくのか考えていく必要性を感じた。



講師の中澤純一氏と直に向き合っ



地域講師の古川正雄氏をお呼びして

## 第45回 ふれあい・人権の集い2017を開催しました



奥山佳恵さん

12月7日(木)丸子文化会館を会場に「第45回ふれあい・人権の集い2017」が開催されました。日本手話ダンスクラブ「ほほえみ」の皆さんと、丸子修学館高校・上田東高校の吹奏楽班による手話ダンスと演奏のコラボや、丸子・武石地域の小中高校生による人権作文の発表がありました。

人権講演会では、「生きてるだけで100点満点！」と題して、女優でタレントの奥山佳恵さんに、ダウン症の次男を迎えた家族の日常を伝えていただきました。

参加した皆さんからは「障がいがあってもなくても、特別な人はいない」生きてるだけで100点満点」の意味がよくわかりました、「できない人ができる人に助けをもらい、社会が回るようになってほしい」などの感想をいただきました。



丸子修学館・上田東高校吹奏楽班



手話ダンスクラブ「ほほえみ」・上田東高校吹奏楽班



左から	5年	滝沢	奏乃さん
西内小	1年	白井	柚亜さん
丸子中	2年	北野	友愛さん
依田窪南部中	2年	関口	優美さん
丸子修学館			